

[研究名]

下腿周囲長は GLIM 基準による低栄養診断の筋肉量減少の指標となりえるのか

※) GLIM 基準とは、成人の低栄養診断基準のことです。

[研究責任者]

香川県立中央病院 リハビリテーション科 診療科長 本田 透

[研究の対象・方法]

2024 年 4 月 ～ 9 月までに、当院の栄養サポートチーム（NST）が関与した入院患者さんについて、下腿周囲長（ふくらはぎの一番太い周囲径）と筋肉量の関係をインピーダンス法で調査します。

原疾患が何であれ栄養状態の評価と改善は治療成績の向上に寄与します。今後、診療報酬の改定で栄養評価が重要視されるようになり、入院時から退院までの栄養スクリーニングやアセスメントが一般病院でも義務化されます。筋肉量変化も栄養評価項目の一つです。全身の筋肉量が下腿周囲長で代用できるかどうか、そのカットオフ値をいくりにするのかをインピーダンス法で検討します。

なお、患者さんの個人情報が増えることはありませんが、研究そのもののデータとして使用を拒否される場合は、下記までご連絡ください。

[問い合わせ先]

〒760-8557 高松市朝日町1-2-1

香川県立中央病院

電話 087-811-3333（代表）